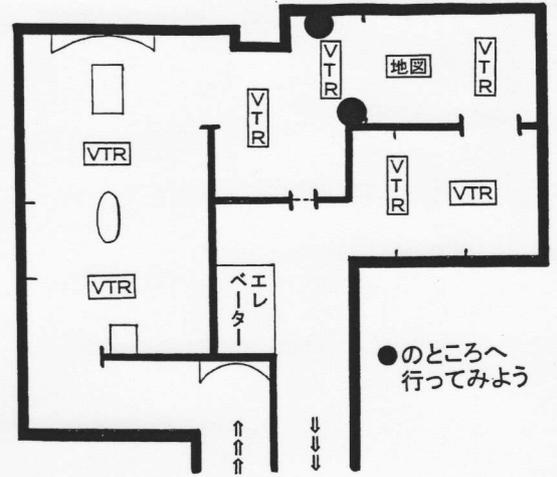


歴史館探検シート

み と はん とく が わ み つ く に 《水戸藩と徳川光圀》

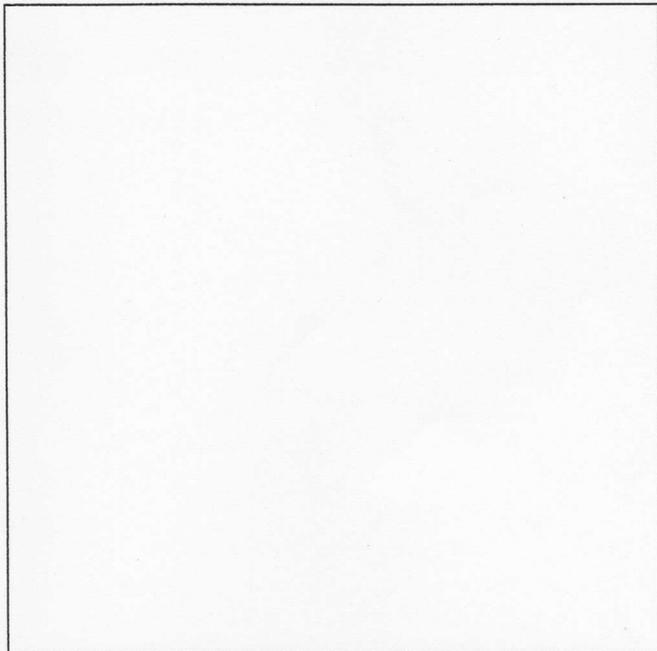
え ど み と はん せ い り つ
—江戸時代前期・水戸藩の成立—



時代	貴族の世の中		武士の世の中				近代の日本		戦後の日本	
	平安時代	鎌倉時代	室町時代	戦国時代	江戸時代	明治時代	大正時代	昭和時代	平成時代	
年代	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	

えが【描いてみよう】

とくがわみつくにざぞうか「徳川光
圀像」のどちらかの徳川光圀
の顔をかいてみよう。



じんぶつ【人物をあてよう】

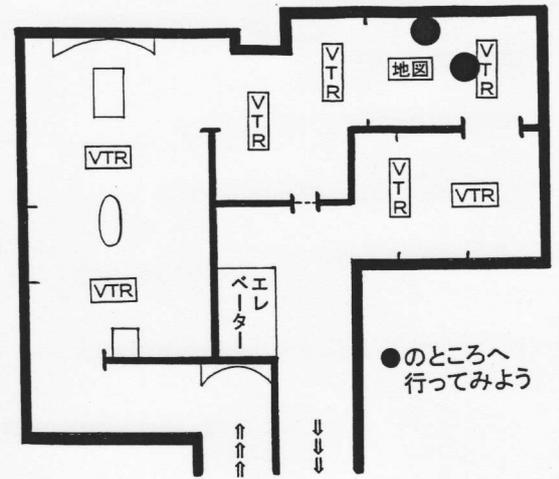
次の人物はだれでしょう。名前を書きましょう。

「梅里先生の碑陰並銘」の「先生」とは、だれのことでしょう。	
中国・明の学者で、1659年に長崎にやってきて、1665年に光圀に招かれ、光圀の学問に大きな影響を与えた人物。	
明からやってきた僧で、1691年に光圀に招かれ、水戸の天徳寺（現・祇園寺）の住職となり、中国の新しい文化を広めた人物。	

歴史館探検シート

《村と人々の暮らし》

—江戸時代の人々の暮らし—



時代	武士の世の中				安土桃山時代		江戸時代		近代の日本		戦後の日本
	貴族の世の中 平安時代	鎌倉時代	室町時代	戦国時代				明治時代	昭和時代	平成時代	
年代	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900		

【調べてみよう】

のうみんいっき
農民一揆の中で、1709年に水戸藩全体
にわたっておきた一揆を何と
いっているでしょう。

【見てみよう】

ほうれき
宝暦8年(1758)に描かれた『土浦道中絵図』には何という宿場町が描
かれていますか。

() ← 小貝川 ← 藤代 ← () ← 利根川

() ← 中村 ← () ← 牛久 ←

() ← () ← 土浦城下 ← 桜川 ←

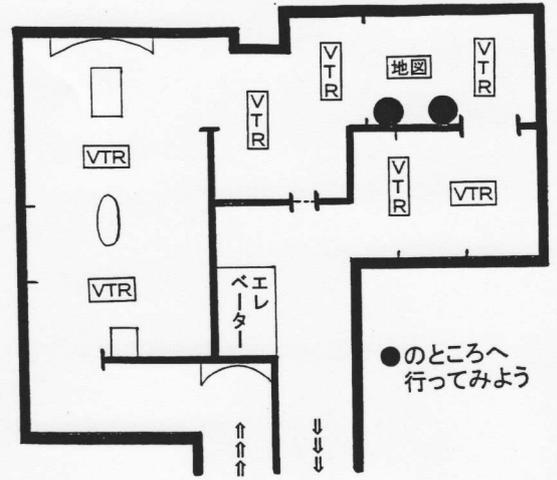
【調べてみよう】

かさしきちきゅうぎ
『傘式地球儀』の中で、現在の太平洋は、
どのような言葉で表されているでしょう。

歴史館探検シート

とくがわなりあき しよはん かいかく 《徳川齊昭と諸藩の改革》

えど かいかく
—江戸時代後期の改革—



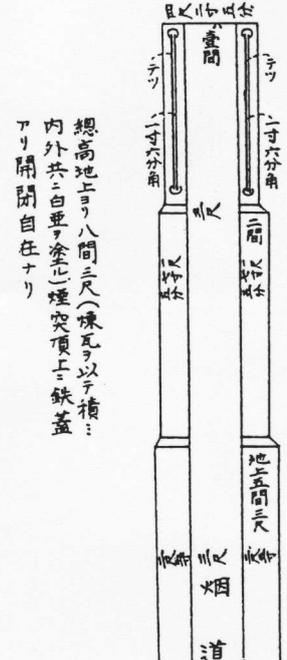
時代	貴族の世の中 平安時代	武士の世の中				安土桃山時代	近代の日本 大正時代		戦後の日本	
年代	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700	1800	1900	平成時代

【調べてみよう】

とくがわなりあき はんしゃろ たいかれんが
徳川齊昭がつくった『反射炉』の耐火煉瓦は、どこ
の土を使って、作られたのでしょうか。また、『反射炉』
とは、何をしますものなのでしょうか。

(どこの土)

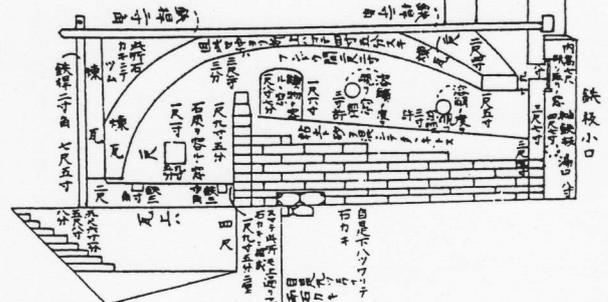
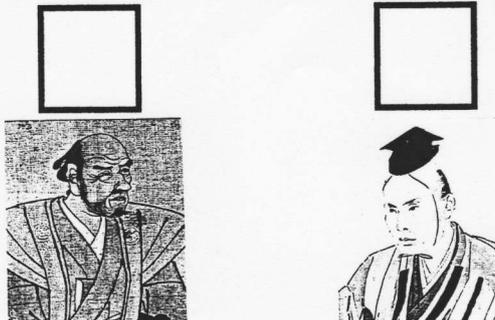
(何をしますもの)



【人物をあてよう】

次の人物と絵を結びつけてみましょう。

- こがはんし らんがくしゃ たかみせんせき
① 古河藩士で蘭学者の鷹見泉石
- そんとくしほう すく にのみやそんとく
② 尊徳仕法で農村を救った二宮尊徳

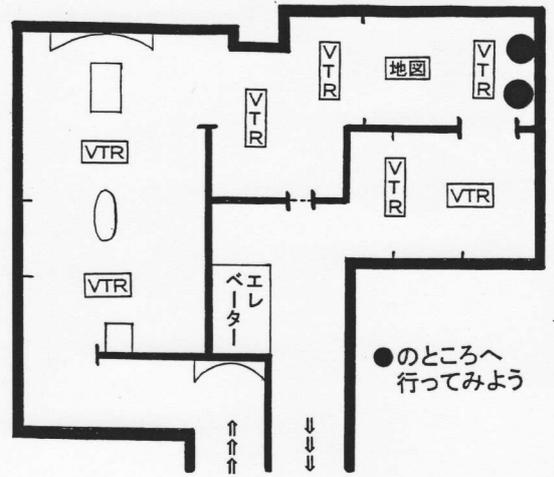


反射炉断面図 (『水戸藩史料』より)

歴史館探検シート

《地方文化の発展》

—江戸時代後期の文化—



時代	貴族の世の中	武士の世の中				安土桃山時代	江戸時代		近代の日本	大正時代	戦後の日本
年代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	戦国時代	1600	1700	1800	明治時代	昭和時代	平成時代	

【人物をあてよう】

水戸藩では、徳川齊昭がつくった藩校「弘道館」を中心に学問がさかんになりました。江戸時代後期に活躍し、水戸藩の学問に大きな業績を残した人物と絵を結びつけてみましょう。

たちばらすいけん
立原翠軒



ふじた ゆうこく
藤田幽谷



あいざわせいしさい
会沢正志斎



ふじたとうこ
藤田東湖



【人物をあてよう】

この時期、地方でも様々な人物が活躍をしました。あてはまる人物を結びつけてみましょう。

ながく ぼせすい
長久保赤水

まみやりんぞう
間宮林蔵

ほんまげんちよう
本間玄調

きむらけんじ
木村謙次

みやもとちやそん
宮本茶村

現在のつくばみらい市(旧・伊奈町)の農家の生まれ。樺太を探検し、樺太が島であることを確かめた。

現在の常陸太田市(旧・水府村)の農家の生まれ。択捉島に渡り、「大日本恵登呂府」の木標を建てた。

現在の高萩市の農家の生まれ。水戸藩の地理学者で『改正日本輿地路程全図』を著した。

現在の潮来市の庄屋の生まれ。考証学者。齊昭の「天保の改革」に力をつくし、多くの書物を著した。

現在の小美玉市(旧・小川町)の生まれ。医者となり、シーボルトにも学び、『内科秘録』を著した。